

JSA 神奈川支部通信

No. 11 November 2023 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：https://jsa-kanagawa.jp、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：iioka408(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 九条科学者の会 18 周年のつどい「岸田政権の政治と憲法情勢」のお知らせ 九条科学者の会事務局
- ◆ 第 22 回東京科学シンポジウム「理性と希望の平和な時代を拓く」2nd サークュラー JSA 東京支部
- ◆ 2023. 10. 5 九条の会大集会「大軍拡反対！憲法改悪を止めよう」の報告 後藤仁敏
- ◆ 神奈川県営水道の料金値上げについて SUW 研究所代表 飯岡ひろし
- ◆ 神奈川支部入会に当たって 中島常安
- ◆ 「JSA 学際研究・市民科学発展プログラム」のサポーターを募集します！ JSA 研究企画部
- ◆ 2024 年度 JSA 助成研究を募集します JSA 研究助成委員会

九条科学者の会 18 周年のつどい「岸田政権の政治と憲法情勢」のお知らせ

九条科学者の会事務局

九条科学者の会18周年のつどい 会場・オンライン併用「岸田政権の政治と憲法情勢」岸田内閣のもとで、平和・人権・民主主義の憲法状況はどうなっているのか。改憲にむけた動きはどう展開しているのか。外国人の権利と明文改憲の策動について二人の講師から学びます。

講演1：外国人の権利について考えるー2023年入管法改定の問題を中心に 講師：高佐智美さん（青山学院大学・憲法学）

講師紹介：たかさ・ともみ。1969 年生まれ。専門は憲法学。博士（法学）。一橋大学法学部卒、獨協大学准教授を経て 2012 年から現職。主要業績は『アメリカにおける市民権』（勁草書房）、「国籍の現代的理解に向けて」浦田一郎古希『憲法の思想と発展』（信山社）、『新憲法四重奏（第 2 版）』（有信堂、共著）、只野雅人他編著『現代憲法入門』（法律文化社、共著）、「国籍法制の現状と課題」憲法問題 30 号 9 頁。



高佐智美さん

講演2：憲法審査会と明文改憲の策動 講師：田中 隆さん（弁護士）

講師紹介：たなか・たかし。1951 年滋賀県出身。1978 年より弁護士。現在は田中隆法律事務所活動。労働者や市民の権利を擁護する事件活動のかたわら、選挙制度や戦争法制などの問題に関与。元自由法曹団幹事長。著書に、『市民に選挙をとりもどせ！』（大月書店・共著）、『検証・小選挙区制』（新日本出版社・共著）、『有事法制がまちにやってくる』（自治体研究社）など。このところ、改憲問題対策法律家 6 団体連絡会で、憲法審査会の問題などに対処。



田中 隆さん

日時：2023 年 11 月 19 日（日）13:30~16:30

**会場：文京シビックセンター5 階 区民会議室 C（定員 72 人、先着順、東京メトロ 田中 隆さん
後楽園駅・丸ノ内線 4a・5 番出口・南北線 5 番出口徒歩 1 分 JR 総武線水道橋駅東口徒歩 9 分）**

オンライン：定員 90 名、先着順受付（オンライン参加希望者は氏名、電話番号を m2-office@9-jo-kagaku.jp にメールしてログイン情報を受け取りください）

参加費：500 円（会場参加者のみ）、オンライン参加者にはカンパ歓迎

主催：九条科学者の会（「九条の会」アピールを広げる科学者・研究者の会、〒113-0005 東京都文京区湯島 1-9-15 HY ビル（茶州ビル）9 階 電話：03-3811-8320、E-mail：m2-office@9-jo-kagaku.jp、

共催：日本科学者会議 電話：03-3812-1472、E-mail：mail@jsa.gr.jp

カンパ送り先：ゆうちょ銀行振替口座 00100-3-500621 加入者名 九条科学者の会

7 月 10 日付で発行した 1st サーキュラーで、私たち実行委員会は今回の東京科学シンポジウムのメインテーマを「理性と希望の平和な時代を拓くー国際的な軍事緊張の高まりに抗して」とし、12 月初めに都内の会場で開催することを決めて、分科会の開設を呼びかけました。

その後の 2 か月間を振り返ると、敵対国への対抗強化を目指す G7 外交、米韓軍事演習による北朝鮮との緊張の高まり、侵略戦争も契機とした物価高騰と実質賃金減少の継続、原発汚染水の海洋放出による騒動、ジャニーズ事務所の性虐待に対する国連からの指弾、マイナカード発行をめぐる大混乱の継続、記録的な猛暑などがありました。こうした情勢は、今回のシンポジウムのテーマが世界と日本が直面している時代の要請に合致しており、科学が解明すべき課題が山積していることを示していると考えます。

さて、1st サーキュラーの分科会設置の呼びかけに応じて 15 件の応募があり、開設がなされました。また特別報告では、非正規雇用者の闘いと、人権とジェンダーという 2 つのテーマを選び、最適な講師に依頼して準備を進めています。前回 (2021 年) のシンポはコロナ禍のため、やむなくオンライン開催となりました。自宅等から気軽に参加でき、費用もかからないなどの利点はありましたが、企画後の交流不足や IT トラブルなどの問題が起きました。今回はポスターセッションや展示コーナー、懇親会の復活は勿論、演奏者を招いたチェロ・コンサート、事前企画の囲碁大会なども予定します。ご期待ください。

この 2nd サーキュラーでは、主に分科会の発表者を募集します。多くの会員が臆することなく分科会発表に応募され、問題意識や日頃の研究の成果、問題解決に向けた運動の取り組みなどを披露いただきますようお願いいたします。なお私たちは、このシンポジウムを市民とともに成功させたいと考えています。非会員の参加も歓迎しますので、周りの市民も誘ってご参加ください。

実行委員会事務局長 佐久間英俊

会場：拓殖大学文京キャンパス (茗荷谷) 主催：日本科学者会議東京支部

プログラム：

1. 特別報告 (12月9日午後)

I. 原田仁希さん (首都圏青年ユニオン委員長) 「非正規労働運動の可能性と展望」

II. 田中優子さん (法政大学・前総長) 「人権とジェンダー・その歴史的視点」

2. 分科会 (12月9日午前、10日午前・午後)

【1】「安全保障三文書」と日本国憲法の相克ー日本国憲法の廃棄を阻止する憲法論と運動論を語ろう 設置責任者：金子勝 (立正大学分会)、中野貞彦 (武蔵野通研分会) 連絡先：s.nakano(at)d012.dant2.jp (中野)

【2】リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流 (part7) 設置責任者：長田好弘 (武蔵野通研分会)、松永光司 (武蔵野通研分会)、橋本良仁 (高尾分会) 連絡先：matsunaga_mitsushi(at)hotmail.com (松永)

【3】科学技術の現状批判ー日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part15 設置責任者：久志本俊弘 (大阪支部)、矢作英夫 (武蔵野通研分会)、長田好弘 (武蔵野通研分会) 連絡先：to4ksmt(at)yahoo.co.jp (久志本)

【4】科学・技術サロンー日本の科学・技術の現状とロマンを語る part16 設置責任者：長田好弘 (武蔵野通研分会)、松永光司 (武蔵野通研分会) 連絡先：matsunaga_mitsushi (at)hotmail.com (松永)

【5】2035 年を見据えた気候変動対策の課題と市民社会の役割 設置責任者：佐川清隆 (東京大学分会) 連絡先：Kinomotosakura0401@hotmail.com

【6】自然科学の進展を俯瞰する III 設置責任者：青木和光 (国立天文台分会) 連絡先：aoki.wako(at)gmail.com

【7】文学は核兵器の惨禍と脅威をどのように描いてきたか 設置責任者：風見梢太郎 (武蔵野通研分会) ・連絡先：kazami(at)big.or.jp

- 【8】人文学から学問と社会の関係を再考する－民主主義、原発、フェミニズム・設置責任者：浅野雄大（東大院生分会） 連絡先：samurai857(at)gmail.com
- 【9】院生・若手企画「冬の学校」－海外留学に行こう！ 設置責任者：森山洸（東大院生分会） 連絡先：hikaru.yamayama(at)gmail.com
- 【10】教育の市場化と公教育 設置責任者：山本由美（和光大学分会）・大友育子（都立公立小学校教員） 連絡先：tu-ootomo(at)educas.jp（大友）
- 【11】大学・高等教育の現状認識を共有し明日を考える 設置責任者：多羅尾光徳（東京農工大学分会） 連絡先：tarao@cc.tuat.ac.jp
- 【12】非正規教職員の労働運動のこれからを展望して Part2 設置責任者：衣川清子（個人会員） 連絡先：kinu_k716(at)yahoo.co.jp
- 【13】AI とジョブ型雇用 設置責任者：黒田兼一（明治大学分会） 連絡先：kuroken(at)meiji.ac.jp
- 【14】日本経済の混迷をどう打開するか 設置責任者：佐久間英俊（中央大学分会）、村上研一（中央大学分会） 連絡先：sakuma(at)tamacc.chuo-u.ac.jp
- 【15】「ポスト冷戦後」の国際政治経済 設置責任者：森原康仁（個人会員） 連絡先：ya.morihara(at)gmail.com

以上15の分科会ですが、今後さらに追加する可能性もあります。詳細は、JSA 東京支部のホームページ (<http://jsa-tokyo.jp/>) で確認ください

開催日程と主な企画 12月9日午前：分科会1、午後：開会式、特別報告Ⅰ、特別報告Ⅱ、夜：音楽コンサート、懇親会 12月10日午前：分科会2、午後：分科会3、分科会4

申込先：日本科学者会議東京支部 第22回東京科学シンポジウム実行委員会（〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階 Tel/Fax：03-3811-8281 e-mail：22nd-kagaku(at)jsa-tokyo.jp）

2023. 10. 5 九条の会大集会「大軍拡反対！憲法改悪を止めよう」の報告

後藤 仁敏

澤地久枝さんの挨拶

2023年10月5日の夜、中野ゼロホールで九条の会大集会「大軍拡反対！憲法改悪を止めよう」が会場いっぱいの1200人の参加で開催されました。

最初に、九条の会呼びかけ人の澤地久枝さん（図1）が次のように挨拶しました。「大江健三郎さんが亡くなって私は九条の会呼びかけ人の最後の一人になった。日本中の九条の会が、最後の砦のように憲法を守り、9条を守っています。憲法を骨抜きにして戦争をする動きを許してはなりません。今日はありがとうございました」。

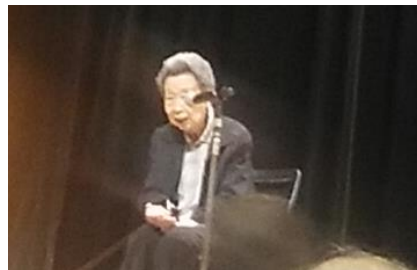


図1 挨拶する澤地久枝さん

全国首長九条の会共同代表の松下玲子さんの挨拶

次いで、全国首長九条の会共同代表で武蔵野市長の松下玲子さん（図2）が、「武蔵野市は空襲を受けた11月24日を「平和の日」として平和を尊重する活動を行っています。戦争も核もない平和な社会を子や孫、これから生まれてくる子どもたちに伝えるため、9条を守り生かす行動をしていきましょう」と挨拶しました。なお、全国首長九条の会の第4回総会と市民のつどいは11月19日の午後、明治大学リバティタワー1階で開催します。



図2 挨拶する松下玲子さん

実行委員会から小森陽一さんの挨拶

九条の会事務局長の小森陽一さん（図3）が実行委員会を代表して次のように挨拶しました。「九

条の会が発足した時、改憲賛成派が世論の多数を占めていましたが、九条の会が全国に結成されると、数年で改憲反対派が多数になりました。そして今まで、国会で改憲派が3分の2以上を占めても、改憲を許しませんでした。今後も、憲法改悪を許さない世論を広げましょう。今日は、九条の会世話人の田中優子さん（図4）と市民連合の中野晃一さんを講師に招待しました。しっかり学びましょう」。

田中優子さんの講演「正しい戦争はどこにもない」

九条の会世話人で、法政大学名誉教授の田中優子さん（図4）は「正しい戦争はどこにもない」として以下のように講演しました。「平和を求め軍拡を許さない女たちの会」を結成し、10月22日にシンポジウムを開催します。きっかけは、岸田政権の安保三文書の閣議決定に多くの女性が怒り、軍拡に反対していることです。岸信介首相が統一協会及び勝共連合とともに、「憲法改正」と「再軍備」という目標を作り、2012年の第二次安倍政権から日本の政治の流れになった。戦後60年間は「自衛」という枠をはみ出さなかった日本が、2015年に集団的自衛権行使を容認し、雪崩を打つように「再軍備」に突っ走っているのを許してはならない。皆さんと一緒に戦争を阻止しようと思います」。

中野晃一さんの講演「改憲・軍拡でなく『安心供与』を」

その後、演歌師で芸人9条の会の岡大介さん（図5）による文化行事・カンカラ三線による「ハワイ航路」、「オッペケペー節」、「カンカラ・ズンドコ節」の歌と演奏がありました。11月6日の夜、築地本願寺ブディストホールで16回目の公演をするとのことでした。

次いで、中野晃一さん（九条の会事務局、総がかり行動共同代表）は「改憲・軍拡ではなく『安心供与』を」について、以下のように講演しました（図6）。

「憲法では9条と前文で、戦争放棄と戦力の不保持、平和的生存権を、13条で個人の尊重（生命・自由・幸福追求権）を認めている。しかし、個別的自衛権だけでなく集団的自衛権行使を容認し、敵基地攻撃能力保有をめざし、南西諸島を軍事化するなかで、「戦後レジーム」は「新しい戦前レジーム」になってしまった。米中戦争になれば、台湾と日本が戦場になる。国民の生命・自由・幸福追求の権利は守れない。抑止とは相手に恐怖を与えることで、威嚇すれば相手も威嚇し、戦争が起きる危険を増す。必要なのは抑止ではなく「安心供与」で、こちらから戦争を仕掛けることはないことを明確に相手に伝えることが重要だ。その点で、憲法9条は日本の安全保障に大きく貢献し、アメリカの戦争に巻き込まれるのを防いできた。9条と13条の連携プレーが平和国家を支えてきた。今、これを反古にして軍事国家をめざしたことで、危険が増している。私たちが憲法を守り、活かすことが平和をつくるのです」。

現場からの発言

続いて、現場からの発言として、各地、各会の九条の会からの多彩な活動の報告がありました。

東京都足立区の千住九条の会の中田順子さんは、9条の条文を中国語、朝鮮語、英語などに翻訳した「九条プレート」を各国に送る活動を報告しました。商社九条の会・東京の仲内節子さんは、「戦争で被害を与えた日本が世界と仕事ができるのは9条があるからで、商社には9条好きがたくさんいる。54回目の講演のつどいをジャーナリストの斎藤貴男さんを講師に、10月8



図3 挨拶する小森陽一さん



図4 講演する田中優子さん



図5 岡大介さんのカンカラ三線



図6 講演する中野晃一さん

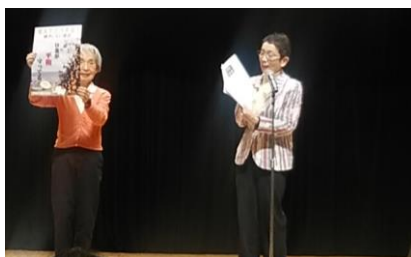


図7 小田原の金子あそみさん

日の午後、文京区民センターで開催します」と発言しました

神奈川からは、おだわら・九条の会の金子あそみさん（図 7）が、9 月に加藤登紀子さんのコンサートを 1000 人の参加で開催したと報告しました。また、「変えてどうする！戦争しない憲法、9 条が平和守ってる」のポスターも紹介しました。総がかり行動実行委員会青年プロジェクトチームの高木陽介さんら 5 人（図 8）は「示されるべきは『戦う覚悟』ではなく『戦わない覚悟』だ。誰もが安心して暮らせるために、9 条を変えさせなかった力を合わせて運動に自信をもって頑張ろう」と呼びかけました。



図 8 総がかり青年 PT の皆さん

東京では九条の会が元気だから、総がかりも市民連合も元気なのだと実感した集会でした。集会が終わると、折しもつよい北風が吹いていました。この風に向かって、私たちは素晴らしい憲法を守るために駆けて行きたいと思いました。中野は遠く、帰宅したのは深夜になってしまいましたが、じつに有意義な集会で、老体に鞭打ってでも参加してよかったと感じました。

神奈川県営水道の料金値上げについて

SUW研究所代表 飯岡ひろし

9 月 29 日の朝日新聞（デジタル）は神奈川県営水道は、水道料金を来年 10 月に改定する予定であることが、県議会常任委員会で明らかになったと報じています。率は単身世帯で約 42%、4 人世帯で約 25%というもので、2022 年 4 月に料金改定をした横浜市の改定率は平均で 12%（4 人世帯に相当）です。全国的にも高率といえます。「県営水道は、相模川周辺の相模原市や厚木市など県内 12 市 6 町の約 285 万人に給水している。県によると、人口減少や水道管の更新などによって、来年度からの 5 年間で収入は約 47 億円減る一方、支出は約 720 億円増えるの見込まれている。その期間の不足分を補うために、水道料金を全体で 25%値上げする必要がある」と当局は説明しています。

神奈川県は水道事業審議会をもうけこの間、10 回にわたって会議を開いています。答申は 10 月 4 日の第 9 回で纏められたようですが、議事録の公表は 11 月頃となって、それを知るすべはありまへん。しかし、第 8 回は 9 月 7 日に公開されて、答申の内容はほぼわかります。これが、県議会の建設企業常任委員会に「水道事業審議会の審議状況について」

(http://www.pref.kanagawa.jp/gikai/kenki_r5_3.html) として報告されました。報告では「これまで審議された料金体系の見直し内容をもとに、水道料金部会から報告された改定料金表（口径別料金体系に転換することを軸として、財源不足（水道料金収入に対する割合 25%）を埋める料金水準）について審議した」としています。

神奈川県は横浜市に続いて生活保護者への減免をやめたこともあって、低所得者への影響は大きく、ときには生存権を左右します。このような重要性から、水道料金の改定をする場合は条例にもとづいて審議会を設置します。企業庁長はその目的を「令和 6 年度以降の長期構想、そのもとで策定する事業計画、その中で施設整備をどのようにしていけばいいか。それからその施設整備に払う財源をどうやって確保すればいいのか、これはまさしく料金をどうするか」「まさしくシステムを作り変えるというような認識を持たないとやっていけない」と発言しています。

長期構想にしろ、事業計画にしろ、財政見通がなければなりません。当然、市民が負担する水道料金と密接不可分です。しかし、審議会ではわざわざ部会なるものをもうけ「水道料金の体系及び

水道料金の水準に関すること」はここで行うとしました。条例にもとづく審議会は原則公開とし、非公開はその理由を示さなければならないと決まっています。審議会は任意の懇談会などではなく、知事、議会、市民に責任を有するものからです。しかし、この部会は、議事録を非公開としていますが、なぜ非公開なのか理由はみあたりません。また、審議会の委員は25人で公募により一般市民も参加しています。しかし、部会は4人で公募委員はいません。専門家といわれる元大学教授2人のほか、新日本監査法人が入っています。この法人は2018年に「人口減少時代の水道料金はどうか」を発表し、全国の水道事業は2043年までに41%の料金値上げが必要としました。この試算では国や地方自治体の水道事業への補助はないものとして、国の意向を先取りしています。このような会社（監査法人と行っても私企業で、粉飾決算などしばしば透明性が問われています）を水道料金の審議に加えるなど、公募委員の排除もあいまって、結論ありきではないでしょうか。

この『屋上屋を架す』ことの弊害は顕著です。審議会は当局の策定した財政見通しありきで、それをどう確保するが分科会の議論の枠組みとなってしまう。総合的な論議を欠くことになります。議事録を読むと低所得者への配慮などは論議の俎上にすら上っていません。審議会は、水道料金に関することを専門部会にまかせ、結果を聞くことが仕事になりますから、上がってきた報告を批判することは容易ではありません。案の定、「25%の財源不足は大きく感じるが、今までも企業努力を続けてきたことを、水道使用者や事業者に情報を伝えていただきたい」などの意見があったと、当局は委員の賛同をことさら強調しています。

神奈川県のように、広域自治体である都道府県が水道事業を行うのは、水道法の「市町村経営原則」の例外的な形態ですし、家庭などに給水をして料金を徴収する事業（末端給水といいます）をしているのは、ほかに東京、千葉などにしかありません。この2か所では首都、県都を給水エリアとしていますから、人口密度が高く、おなじ施設や配管あたりでもより多くの人口に給水ができます。つまり効率がいいのです。しかし、神奈川県の県営水道は人口減少の激しい地域を給水エリアとし、面積がひろいため効率が悪いのです。あえていえば、2023年の水道法改正（改悪です）以降、国は県をつうじて広域計画をつくらせる根拠をもつことになり、各県で計画を策定しています。神奈川でも同様です。その広域化の悪い面が明らかなのが、県内市町村に広域化をすすめている県の水道事業です。

神奈川県内広域水道企業団は宮ヶ瀬ダム、三保ダムから4か所の浄水場を通じ、県・横浜、川崎・横須賀の構成団体（企業団に出資した地方自治体）に水道水を供給しています（末端給水にたいして、用水供給といいます）。この企業団も、創設後50年をむかえ施設の更新時期となっています。県は企業団の将来構想を検討する事務局として、構成団体の自己水源と浄水場の廃止をもって、企業団を増強するという構想を推進しています。そうなれば、今回の県営水道の値上げは「不足額をまかなえないからだ」とする県営水道の言い訳は、企業団の工事による受水費の負担増も加わることで、早晩、破綻することになります。

県営水道の料金値上げは、人口減少での水道事業をどうするかという命題であって、時期のおそいやいはあっても、他人事ではありません。審議会では「電気やガスなどのように物価にともなって自動的にあげることも考える」などとんでもない発言もありました。県営水道の将来をどうするかは、県内の地方自治体の首長、議会、団体を巻き込んだ市民による論議が不可欠です。部会の議事録を公開させることはその一歩です。情報公開なしには、市民的な論議もできません。ましてや「システムを作り変える」などということは出来ません。

私は長らく北海道支部に会報会員として所属していましたが、昨年退職に伴って横浜へ転居し、この度正会員となりましたので、自己紹介をさせていただきます。私の元々の専門は発達心理学ですが、研究の対象が幼児期だったこともあり、短大・大学において保育士と幼稚園教諭の養成に当たってきました。その過程において、幼児教育と保育の研究を行うようになり、そこから研究分野が幼児期の平和教育へと移っていきました。

平和教育と言うと、日本においてはかつての日教組が「教え子を戦場に送るな」とのスローガンを掲げて反戦教育に力を入れていましたが、その間海外においては、政治学の中から派生した平和学が「積極的平和」という新しい概念を構築して、平和の概念を拡張しました。

この用語はかつて当時の安倍首相が防衛力強化を唱える中で使っていましたが、その意味するところは、まったく真逆のものです。平和学においてその対概念は「消極的平和」となります。その意味するところは戦争のない状態です。なぜ「消極的」という言い方をするのかと言えば、戦争がないというだけでは、真の平和とは言えないからです。平和の反対概念としては暴力が位置づけられます。同様に暴力にも対概念が存在します。それは直接的暴力と間接的暴力なのですが、平和学においては、間接的暴力を「構造的暴力」と言い換えます。直接的暴力が目に見える暴力であるのに対して、構造的暴力は目に見えない暴力です。直接的暴力は身体的に危害を加えるばかりではなく、言葉の暴力のように、精神的にダメージを与える場合も含んだ攻撃行動を指します。

積極的平和には社会的正義の概念が含まれます。わかりやすく言えば、誰もが幸福になれる社会の実現です。そのためには、貧困や差別、機会の不平等といった社会の中における不正義が解消されたとき、真に平和な社会が実現されたことになるのです。平和学は主として紛争解決の方法といった政治学の文脈で研究しますが、国家や民族、集団間の対立と個人間の対立といったこれらのすべてが、一つの階層的な構造を成すと考えます。つまり構造の底辺には個人間の対立関係が、頂点には国家間あるいはかつての東西の冷戦対立のような地球規模の勢力関係が位置付く事になります。

将来的に世界が戦争を含めた直接的暴力を克服するためには、学校教育における平和教育が必要であると考え、その提起がユネスコより、スペインのセビリアにおいて開催された会議にちなんだ「暴力についてのセビリア声明」が出されています。ユネスコはこの声明の中で、戦争が本能であるために避けることが出来ないとする一部の生物学的悲観主義を科学的な根拠がないとして批判し、学校教育における平和教育の必要性を説いていますが、幼児教育の研究に限っては、日本は世界の最先端を行っていると考えています。というのは、かつての民教と人的に深い関わりのある「保育問題研究会」が、「将来の民主的主権者を育てる」ことを保育目標として掲げ、その方法論としての「自治集団づくり」を実践的に研究しているからです。その意味するところは、大人である保育者が主導するのではなく、子ども同士で話し合い、対立を克服して、相互信頼によって協力し合う関係を年長児の段階で実現しようとするものです。これを「共同の自己実現」と呼びます。その能力の獲得が幼児期に可能であることを理論化するのは、発達心理学の領域になりますが、定説では否定的です。否定的というより、そもそもそうした能力がまったく想定されていないと言った方がよいかもしれません。

そもそも保育問題研究会は、既成の発達心理学の理論を疑うところから出発しています。かつてピアジェという著名な発達心理学者が唱えた発達段階論に従えば、論理的な思考が可能になるのは小学校の後半学年以降ということになります。この理論にはそれなりの根拠はあり、彼が行っていた実験の手法を用いれば、幼児期における論理的思考能力の限界が明らかになりますが、幼児は頭ではなくて経験を通すことによって科学的思考が可能になることを、保育問題研究会の実践的保育

研究が明らかにしています。

「JSA 学際研究・市民科学発展プログラム」のサポーターを募集します！

JSA 研究企画部

JSA 学際研究・市民科学発展プログラムとは、「自らの手で社会の問題を解決するために多分野の学問を深く学びたい」という意欲を持ったJSA 会員（市民・学生・研究者など）が「発案者」となり、全国のJSA 会員（市民・学生・研究者など）の中から、自らが考える研究の目標達成に主導的に協力してくれる「主協力者」と、研究を側面から支援してくれる異分野の「副協力者」を探索・組織して、その協力のもとで、オンラインによる「異分野（または異職種）協働の学際研究または市民科学」を実施する取り組みであり、その活動をJSA全体で組織的にサポートするという構想です。

今年（2023 年）5 月の全国大会において、その実施の方向性が確認され、7 月の幹事会において具体的な進め方が承認されました。

つきましては、発案者が全国事務局の支援の下で、主・副協力者を探索・組織していく上で必要となる「サポーターリスト」の構築を開始します。本プログラムに協力したい（「サポーターリスト」に登録してもよい）と思われるJSA 会員の方は、JSA ウェブサイト、トップページの「学際研究・市民科学発展プログラム」<https://jsa.gr.jp/d/gakusai> にある【サポーターへの応募の様式】のファイルに必要事項を記入の上、全国事務局の研究企画部のメールアドレス（kenkyukikaku(at)jsa.gr.jp）まで、添付ファイルとしてお送りください。

今後、サポーターは、随時募集を続けていきますが、なるべく早期にプログラムの体制を整えるために、現時点で参加のご意思をお持ちの方は、2023 年12 月末までに、ご応募を頂けますと幸いです。また本件について、ご質問やご意見のある皆さまは、遠慮なく、研究企画部の同メールアドレスまでお送りください。

2024 年度 JSA 助成研究を募集します！

JSA 研究助成委員会

日本科学者会議研究助成要綱に則り、次の要領で 2024年度JSA助成研究を募集します。
この研究助成には、JSA会員ならどなたでも応募できます。

公募期間：2023年11月1日～ 2024年1月末

研究助成限度額：単年度研究20万円、複数年度研究15万円（3年が上限）

審査：2024年2月 研究期間：2024年4月開始 助成予算：毎年120万円

研究報告書提出：複数年度実施の研究も含め毎年3月末迄に提出すること。

研究成果公表メディア選択報告：研究終了年度末から3か月後（6月末）までに行うこと。

応募方法：JSAウェブサイト（<http://www.jsa.gr.jp>）の会員専用ページ（ユーザー名とパスワードをご存じない場合は所属支部役員にお問い合わせ下さい）から申請書類「JSA 研究助成応募（様式 1）」をダウンロードし、所要事項を入力し申請書ファイルを完成させて下さい。

・申請書ファイルは、公募期間内（厳守）に全国事務局研究企画部kenkyukikaku(at)jsa.gr.jp宛に、「2024 年度研究助成応募」というタイトルの電子メールに添付して送信して下さい。申請受付後、速やかに返信メールを送ります。もし返信が届かない場合は、上記アドレスに問い合わせてください。

・各地区から互選された9人の研究助成委員に研究企画部長を加えた10名で構成する研究助成委員

会が、提出された申請を審査します。多数の応募をお待ちしています。

・なお、日本科学者会議研究助成要綱は会員専用ページにあります。

行事案内

- ☆10月19日(木) 17:00～ **院内集会：日本の没落** 会場：衆議院第一議員会館1階多目的ホール 講師：内田樹さん(思想家) 参加無料 共催：立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会 共催 院内集会後の議員会館前抗議行動にも、ご参加ください。午後6時30分～ 議員会館前 総がかり行動主催
- ☆10月19日(木) 18:30～ **10・19国会議員会館前行動** 場所：衆議院第2議員会館前を中心に 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション
- ☆10月19日(木) 20:30～21:45 **第36回日中民間交流対話講座「BRICSが新しい世界を創る一岐路に立つ日本の中国政策」** 主催：神奈川県日中友好協会・経済文化交流部会 講師：久保孝雄氏(元神奈川県副知事、元神奈川県日中友好協会会長) 開催形式：Zoomによるオンライン講演会 定員：先着500名 参加費無料 申込期限：10月17日(火)13:00まで(時間厳守) 申込方法：下のリンク先の申込フォームから。<https://forms.office.com/r/2PR7h29tgW>
- ☆10月20日(金) 18:30～ **沖縄を再び戦場にさせない！10.20横浜集会** 会場：横浜市技能文化会館2階多目的ホール(関内駅南口徒歩5分) プログラム：辺野古現地映像、沖縄からのゲスト・瑞慶覧長敏さん、その他 資料代800円(学生無料) 主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会 協賛：神奈川平和運動センター、原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議 問合せ：090-4822-4798(深沢)
- ☆10月21日(土) 9:30～12:00 **かながわ市民連絡会全体会** ズームによるオンライン開催 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360 (内藤繁)
- ☆10月21日(土)～22日(日) **のむぎ平和のバラ祭り** 場所：のむぎ平和のバラ園(田園都市線青葉台駅からバス「寺家町」下車、寺家ふるさと村内) 入場料1人1000円以上のカンパ バラ販売 主催：のむぎ地域教育文化センター 問合せ：090-2489-4061(樋口さん)
- ☆10月21日(土) ①10:30～12:30、②14:00～16:00 **映画会「荒野に希望の灯をともし」** 会場：港北公会堂ホール(東急東横線大倉山駅徒歩7分) 各回上映後、谷津賢二監督のトークあり 前売り大人999円、小～大学生・障害者・付添者500円 主催：港北区教育懇談会 連絡先：080-6559-0183(守屋)
- ☆10月21日(土) 13:30～(受付13:00～) **第4回山中市政を進める市民の集い** 会場：横浜市従会館4階ホール(桜木町駅徒歩10分) 資料代500円 講演：岡田知弘(京都橘大学教授)「岸田大軍拡内閣と地方自治の未来」 報告：①中学校給食の取り組み、②小児医療費助成制度拡大の取り組み、③市議会の状況(古谷靖彦・日本共産党市議団長)、④市長と応援団の役割(岡田尚・市民のための横浜市政を進める会代表世話人) 主催：市民の市長をつくる会 問合せ：045-650-1896
- ☆10月21日(土) 13:30～ **治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟横浜西部支部総会と記念講演** 会場：あじさいプラザ会議室(相鉄線瀬谷駅徒歩1分) 講師：成田惻さん(日本共産党名誉役員) 参加無料 連絡先：045-383-0446(小澤)
- ☆10月21日(土) 14:00～ **東アジアに平和を！琉球弧の島々を戦場にするな！新宿アクション** 場所：新宿駅東口アルタ前 アピール行動：発言 瑞慶覧長敏(「沖縄を再び戦場にするな県民の会」共同代表) 電話メッセージ 下地茜(宮古島市議) 台湾、韓国からメッセージ 15:00 デモ出発 主催：実行委員会 問合せ：090-3910-4140(沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック)
- ☆10月21日(土) 14:00～ **憲法擁護ポスター制作記念集会 中野から全国に広がれ！広がれ！広がれ！第38回憲法問題連続講座 憲法9条と13条を実現する社会へ～現下の状況を踏まえて** 会場：中野産業振興センター3階大会議室(JR中野駅南口徒歩5分) 第1部：だれのこどももころさせない 絵本作家・浜田桂子さんのお話と絵本「だれのこどももころさせない」朗読 ポスター制作にかかわれた方々から発言 第2部：伊藤塾塾長・伊藤真さん記念講演 資料代800円(学生500円、高校生以下無料) 主催：九条の会・中野 連絡先：03-6454-0993(小澤)
- ☆10月21日(土) 14:00～16:00 **日中平和友好条約締結45周年記念シンポジウム 日中永久不再戦のために戦後補償をめぐる経験と成果を振り返る** 会場：ヒューリック浅草橋ビル3階ルーム1(総武線浅草橋駅西口すぐ) 講演：野田毅(日中協会会長)「私の体験した日中市民の交流と不再戦の思い」 報告：日中市民の共同による戦後補償の成果を振り返る(森田太三、金子美晴、大江京子、富永由紀子、米倉洋子の各弁護士) 参加方法：申込不要 会場またはYouTube Live(配信) <https://www.youtube.com/watch?v=vn-SDXCzwAM> 主催：公益法人日本中国友好協会、一般財団法人日本中国文化交流協会、一般社団法人日中協会、NPO中日学術交流センター 連絡先：03-3354-2555(南典男)
- ☆10月21日(土) 18:30～ **第177回市民憲法講座 テーマ：維新が奪った「命・人権・文化・自治～大阪の13年を振り返って** 講師：二木洋子さん(市民連合高槻・島本、元高槻市議会議員) 会場：文京区民センター3C会議室(地下鉄春日駅徒歩2分) 参加費800円 主催：許すな！憲法改悪・市民連絡会 連絡先：高田健さん(kenpo@galaxy.ocn.ne.jp 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402 市民ネット内 許すな！憲法改悪・市民連絡会 03-3221-4668 Fax03-3221-2558)
- ☆10月22日(日) 1回目10:30、2回目14:00 上映開始 **上映会 ドキュメンタリー映画「教育と愛国」知ってほしい 教科書で?いま「何が起きているのかを** 会場：旭区民文化センターサンハート(相鉄線二俣川駅北口徒歩1分) 前売券999円、当日券1200円、学生・こども無料 主催：旭区「九条の会」 連絡

先：080-1177-3736

- ☆10月22日(日)13:30～ **くらしの相談センター開設20周年記念のつどい&松元ヒロライブ** 会場：かわさき保育会館(川崎駅徒歩20分) 1部：歩み報告と来賓挨拶 2部：ライブ 参加協力券2000円、高校生以下、障害者1000円 主催：実行委員会 問合せ：044-246-6823)
- ☆10月22日(日)13:30～ **シンポジウム 平和を求め軍拡を許さない女たちの会** 会場：専修大学神田キャンパス7号館3階731教室(定員200人) 資料代500円 講演：古賀茂明(政治経済アナリスト、元内閣審議官・経産官僚)「平和主義を捨てた日本」、パネリスト：東村アキコ(漫画家)、田中優子(法政大学名誉教授)、前田佳子(公益社団法人日本女医会会長) 司会：望月衣塑子(東京新聞記者)、杉浦ひとみ(弁護士) 寄付をお願いします。1500円以上の方にスカーフをプレゼントとします。ゆうちょ記号10000 番号56481531 他金融機関から 店名〇〇八 店番008 普通口座番号5648153 事務局・問合せ：gunkakuyurusana0208@gmail.com
- ☆10月22日(日)13:30 **中国映画を観る会「ジョン・ラーベ～南京のシンドラー」** 会場：戸塚区役所3階多目的スペース中(戸塚駅西口徒歩1分) 資料代500円 主催：日中友好協会横浜西南支部 連絡先：080-5081-6522(大幡)
- ☆10月23日(月)18:00～ **憲法9条改憲NO!ウィメンズアクション** 場所：JR有楽町駅イトシア前 主催：戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team
- ☆10月23日(月)18:00～21:00(予約必要) **オルタナティブな日本をめざして(第93回)：「自衛隊も米軍も日本にはいない! 恒久平和を実現するための非武装中立論」**(花岡蔚さん：新ちよぼゼミ) 会場：スペースたんぼぼ(高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口徒歩5分) 参加費(資料代含む)800円(学生400円) 講師：花岡蔚さん(1966年東京大学法学部政治学科卒、1975年カリフォルニア大学バークレー校経営学修士。1966年日本勧業銀行(現みずほ銀行)入行。2006年カリタス女子短期大学非常勤講師) 予約の受付窓口：たんぼぼ舎(水道橋)：TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797(上記に電話して「受付番号」をもらってください)
- ☆10月24日(火)14:00～ **末吉配水施設見学・学習会** 14時に尻手駅改札集合 主催：かわさきの安全でおいしい水道水を守る会 問合せ：090-7944-5636(町井さん)
- ☆10月24日(火)18:00～ **横浜ノースドックへの揚陸艇部隊配備反対県民署名提出の報告集会** 会場：横浜市健康福祉総合センター8階会議室 主催：横浜ノースドックへの揚陸艇部隊配備反対県民署名実行委員会 問合せ：stop_nd_2023@ymail.ne.jp
- ☆10月24日(火)18:30～20:30 **第54回憲法学習会** 講師：前川 喜平さん(元文部科学事務次官) 演題：岸田首相は日本をどこへ連れていくのか? 会場：全国教育文化会館地下会議室(有楽町線麴町駅徒歩2分) 参加費：500円(どなたでも参加できます) 主催：私学九条の会・東京 連絡先：03-3230-4091(東京私教連)
- ☆10月25日(水)12:10～12:40 **消費税減税、国民生活に税金使え、憲法いかした政治の実現 デモ行進** 集合：12時10分に桜木町駅前、12時20分にデモ出発、京急日ノ出町駅前に12時40分到着予定 呼びかけ：「軍事費を削って、くらし、福祉・教育の拡充を」神奈川県大運動実行委員会/憲法改悪反対・神奈川県共同センター/神奈川県労働組合総連合 問合せ：電話045-212-5855(神奈川県労連)
- ☆10月25日(水)19:00～21:15 **Local Initiative Network「MEETING V」政治は変わる!地域から コモンをつくる** 会場：セシオン杉並(500人)&ZOOM オンライン 杉並区梅里1丁目22番32号、丸ノ内線東高円寺駅徒歩5分、新高円寺駅徒歩7分 参加費1000円 事前申し込み(振込み)制 申込みは<https://lin-net5.peatix.com/> 手話通訳あり(会場のみ) 主催 LIN-Net(Local Initiative Network) ローカルイニシアティブネットワーク <https://localinitiative.wixsite.com/lin-net> プログラム：Ⅰ ミュニシパリズム 杉並 NOW! 杉並のみなさん+中島岳志(政治学者)、Ⅱ これがコモンだ! コメンテーター 斎藤幸平(経済思想家)、ケアのコモンズ子ども居場所、高齢者の出番(杉並区の現場から)、公契約条例で公正な報酬を(公契約推進世田谷懇談会)、地産地消の再エネで循環型社会へ(多摩循環型エネルギー協会)、Ⅲ シンポジウム「LIN-Net」と私たちが進む道 能條桃子(FIFTYS PROJECT)、岸本聡子(杉並区長)、保坂展人(世田谷区長) LIN-Net ローカルイニシアティブネットワーク事務局 <https://localinitiative.wixsite.com/lin-net>
- ☆10月26日(木)15:00～18:00 **『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会** かながわ県民センター705号室、市民自治に関心のある方はお越し下さい。Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp 参加費300円
- ☆10月26日(木)18:00～22:00 **政権交代を実現する会結成大会** 会場：文京シビックホール小ホール(東京都文京区春日1-16-21、丸の内線/南北線で後楽園駅、都営地下鉄三田線/大江戸線春日駅) 参加費：資料代1000円 問合せ：03-3985-8502
- ☆10月26日(木)18:00～ **憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝** 場所：池袋駅 東口 共催：戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆10月28日(土)14:00～16:00 **東日本大震災復興支援チャリティコンサート** 会場：スペースオルタ(新横浜駅徒歩6分) 参加費2500円、大学生以下、避難者1000円 お話：藤田操(たらちねクリニック院長)「子どもたちの歩く道をととのえていく」、篠笛コンサート 主催：藤井ようことフクシマ応援隊 問合せ：080-2269-2400(藤井さん)
- ☆10月28日(土)14:00～ **うたごえ創立75周年記念 絹の道合唱団演奏会 うたごえよ明日のために** 会場：小金井宮地楽器ホール(武蔵小金井駅南口前) 大人2000円、中高生・障害者1000円(車椅子席あ

- り) 指揮：横山琢哉 ピアノ：澤潟雅子・本間敦子、ヴォイストレーナー：櫻井奈々子 後援：東京うたごえ協議会、三多摩うたごえ協議会 問合せ：090-4272-0210 (片山) 13時から歌いましょう 13時30分から講演 参加費 1000 円 (学生・院生 500 円) 要事前申込み：以下のサイトから、
<https://sites.google.com/site/shosha9jho/> 主催：商社九条の会・東京
- ☆10月28日(土) 14:00～16:00 **ピースデポ「脱軍備・平和基礎講座」10月第5回 軍事研究への傾斜と学術会議「改革」問題** 講師：池内了(名古屋大学名誉教授) 日本の学界は、敗戦後少なくとも公的には軍事研究を行ってこなかったが、数年前からこの原則を破り、さらに経済安保法等によってより大きな流れになりつつある。それにどう立ち向かうべきかを考える。どなたでも参加できる市民講座です。参加をご希望の方は以下の申込み先より申込みください。形式：オンライン(Zoom 配信、見逃し配信あり) 資料代は1回1000円 申込み先：以下のグーグル・フォームより申込下さい。
<https://forms.gle/McpjdrWTcSZ5gZrW8> 問合せ先：メール：watanabeyosuke@peacedepot.org 電話：045-633-1796 (担当：渡辺)
- ☆10月28日(土) 17:30～20:00 **第10回渡辺治の憲法情勢徹底分析 STOP! 戦争国家への道～憲法活かし平和と外交** 会場：鎌倉生涯学習センターホール(鎌倉駅東口徒歩3分) 入場料500円 20歳以下無料 申込み：メールkamakura9jo@gmail.com 氏名・電話・予約枚数、Fax 0467-60-5410 氏名・電話・Fax・予約枚数、店頭 島森書店、たらば書房 問合せ：0467-24-6596 主催：鎌倉・九条の会
- ☆10月29日(日) 14:00～16:00 **第33回市民連合全国意見交換会** オンライン開催 主催：市民連合事務局(竹内、菊地) 連絡先：TEL 03-5289-8222 (平和フォーラム) 携帯 090-4437-2175 (菊地)
- ☆10月29日(日) 14:00～16:30 **第88回学習会「日米地位協定が憲法の上にある、日米合同委員会が国会の上にある」** 会場：宮前市民館第4会議室(川崎市宮前区宮前平2-20-4、東急田園都市線宮前平駅徒歩10分) 講師：新倉泰雄さん(神奈川県平和委員会) 資料代300円 主催：宮前九条の会 連絡先：044-855-8896 (若原)
- ☆11月2日(木) 18:00～21:00 **30周年創刊記念大集会 なんだかんで30年 読者と歩む『週刊金曜日』** 会場：日本教育会館一ツ橋ホール(地下鉄神保町駅A1出口3分) 参加費2000円(当日3000円、全席自由) 出演：雨宮処凛、宇都宮健児、想田和弘、田中優子、崔善愛 メッセージ：本多勝一 ゲスト出演：松本ヒロ チケット販売：チケットぴあの次のサイトで購入下さい。<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2327724> Pコード：651166 主催・問合せ：(株)金曜日(03-5846-9001)
- ☆11月3日(金・祝) 13:45～15:10 **11.3憲法大行動** 場所：国会正門前 スピーチ：斎藤小百合さん(恵泉女学院大学教授)、清水雅彦さん(日本体育大学教授)、加藤裕さん(弁護士・辺野古訴訟代理人)、住江憲勇さん(医師)ほか 主催：総がかり実行委員会、全国市民アクション、九条の会 連絡先：03-3526-2920、03-3221-4668、03-5842-5611
- ☆11月4日(土) 13:30～ **横須賀母港化50年を問う県民集会** 会場：神商連会館4階会議室(東神奈川駅徒歩5分) 講演：呉東正彦さん(「横須賀母港化を考える市民の会」共同代表)「母港化50年・横須賀のたたかい」、小泉親司さん(日本平和委員会理事)「日米同盟の中での母港50年」 特別発言：飛田久男さん(ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会事務局長)「ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対の闘い」 資料代500円 主催：原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会、安保廃棄・諸要求実現県統一促進会議、神奈川県原水爆禁止協議会、神奈川県平和委員会 連絡先：045-231-0103 (県平和委員会)、090-1995-0103 (新倉さん)
- ☆11月6日(月) 18:00～ **第16回芸人9条の会** 出演：パギさん、岡大介、神田香織、松元ヒロ、オオタスセリ、おしどり、古今亭菊千代 会場：築地本願寺ブディストホール(地下鉄築地駅出口1徒歩1分) 木戸銭前売り4000円、当時千4500円 予約は古今亭菊千代まで：090-3106-5585, chiyo.chan@nifty.com 主催：芸人9条の会
- ☆11月9日(木) 18:00～21:00 **オルタナティブな日本をめざして(第94回)「砂川事件最高裁大法廷判決の裏側：米国と通じていた田中耕太郎裁判長(最高裁長官)」(武内更一弁護士：新ちよぼゼミ)** 講師：武内更一(弁護士、東京外環道訴訟原告代理人、「憲法と人権の日弁連をめざす会」代表、虎ノ門合同法律事務所弁護士、在日外国人の指紋押捺拒否の弁護団で活躍。国家賠償訴訟や行政訴訟の住民側弁護を行う) 会場：スペースたんぼぼ(高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口徒歩5分) 参加費(資料代含む)800円(学生400円) 予約受付窓口：たんぼぼ舎(水道橋)：TEL 03-3238-9035 (上記に電話して「受付番号」をもらってください)
- ☆11月11日(土) 13:30～15:30 **本牧・山手九条の会結成18周年記念講演会 今こそ「戦争ではなく、平和を」の声を！楽しく元気が出る運動を！** 会場：横浜上野町教会(JR山手駅徒歩15分) 参加費800円(学生無料) 講師：菱山南帆子さん(許すな憲法改悪・市民連絡会事務局長) 主催：本牧・山手九条の会 問合せ：045-741-3195、honyama9@jcom.zaq.ne.jp (横浜建設一般労組みなど支部)
- ☆11月11日(土) 14:00～15:30 **福島からあなたへ2023 海を守り、未来につなぐ、たたかいの今** お話：武藤類子さん(福島原発告訴団団長) 会場：カトリック藤沢教会聖堂(定員200名、先着順、予約不要、藤沢駅徒歩5分) 参加費500円(学生無料) 主催：武藤類子さんのお話を聞く会 問合せ：090-3438-3159 (松延)
- ☆11月12日(日) 9:30～16:30 **第51回神奈川自治体学校 危機の時代の地域と自治体～地域から平和な世界を** 会場：横浜市健康福祉総合センター(桜木町駅徒歩3分) 参加費1000円(分科会のみは700円) 午前：全体会 4階ホール 記念講演：猿田佐世(ND上級研究員、弁護士)「市民と自治体による平和の構

築」 特別報告：高井一聴（横浜市従労組執行委員）・齋在浩（留学同神奈川副委員長）「足元から始める国際連帯」 午後：分科会 8・9階会議室 ①民営化、公務労働・公共性分科会、②環境・まちづくり分科会、③子育て・教育分科会、④暮らしと地域経済・産業分科会、⑤平和・基地分科会、⑥女性行政分科会 主催：第51回神奈川自治体学校実行委員会 事務局：神奈川自治体問題研究所 申込み先：電話・Fax. 045-252-3948、kanagawajitiken@siju.or.jp

☆11月12日（日）14:30～16:50 **大和市革新懇第21回ライブ&トーク 平和を願う市民の集い 三線演奏と映画「教育と愛国」上映** 会場：大和市生涯学習センター(シリウス)601講習室 前売り900円、当日1100円、学生・障害者500円 主催：大和市革新懇 共催：教科書ネット大和 連絡先：070-3630-6257(岸さん)

☆11月19日（日）10:00～15:30 **楽しく学ぶ地方財政講座 まちの財政を身近なものにー基本を身につけ、住民力・議員力・職員力をアップしよう** 会場：横浜市健康福祉総合センター8階会議室（桜木町駅徒歩3分） 参加費2000円（会員は1500円、学生・院生1000円） 講師：内山正徳（神奈川自治体問題研究所副理事長） 申込み先：電話・Fax. 045-252-3948、kanagawajitiken@siju.or.jp

☆11月19日（日）10:00～16:00 **第11回人権シンポかながわ** A. 10時～12時、情報文化センター6階ホール 上映会「凍りついた魂 袴田巖に襲いかかった死刑えん罪」、講演：小川秀世さん（弁護士）「袴田事件 誤判原因と再審公判の現状」 B. 10時～12時、弁護士会館5階 講演：堀越芳乃さん（国境なき医師団日本アドボカシー）「あなたのバトン、繫げます！～寄付・遺贈のススメ」 C. 10時30分～12時、zoomウェビナー（定員500名） 講演：鈴木宣弘さん（東京大学教授）「食料危機と日本の貧困」 D. 12時30分～13時30分、弁護士会館5階 神奈川県弁護士会人権賞贈呈式 E. 14時～16時30分、弁護士会館5階 講演：山本すみ子さん（関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会代表）・鄭栄桓さん（明治学院大学教授）「1923年9月、横浜で何が起きたのか～関東大震災時の虐殺と現在」 F. 14時～16時、弁護士会館4階（定員50名）、zoomウェビナー（定員500名） 講演：及川敬貴さん（横浜国立大学教授）「ネイチャーポジティブのための社会デザインー生態系サービスと『手入れ』の視点から」 主催：神奈川県弁護士会 問合せ：045-211-7705

☆11月19日（日）13:30～16:30 **全国首長九条の会第4回総会と市民のつどい** 会場：明治大学リバティータワー1階1011教室（御茶ノ水駅徒歩5分）とzoom併用の予定資料代1000円 第一部：「9条を空文化する安保3文書ー戦争の危機は沖縄、そして全国に」をテーマに討論します。お話：伊波洋一さん（参議院議員、元宜野湾市長）、発言：井原さん（元岩国市長）など 第二部：総会（方針提案、役員選出などと会員の交流） 問合せ：03-3221-5075、sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp

☆11月23日（木・祝）13:30～ **沖縄に連帯する神奈川のつどい** 会場：横浜市健康福祉総合センター4階ホール（桜木町駅徒歩2分） 千坂純（日本平和委員会事務局長）「岸田軍拡と沖縄」、琉球舞踊と沖縄サンシン：児玉信・久手堅玲奈・岡本裕子、井上久士（駿河台大学名誉教授）「つくられた台湾有事と日中関係」 資料代800円 主催：神奈川県平和委員会、日中友好協会神奈川県連合会、神奈川県平和委員会、神奈川県革新懇 問合せ：☎045-663-6041

☆11月25日（土）13:20～ **神奈川革新懇第44回総会・冊子出版記念集会** 会場：神商連会館ホール（JR東神奈川駅徒歩5分） 内容：立憲野党代表挨拶、情勢報告、年間活動まとめと方針、冊子「みらい3」の内容紹介 討論 Zoom参加（アドレス登録を） 参加費500円 問合せ：☎080-5931-8197

☆11月25日（土）13:30～ **前川喜平さんが語る 今の教育 なにが問題？** 会場：かながわ県民センター2階ホール（250名収容可能、JR横浜駅西口徒歩5分） 講師：前川喜平さん（元文部科学省事務次官） 参加費500円（高校生以下無料） マスク着用を協力を 主催：横浜教科書採択連絡会 問合せ：090-9293-8446

☆11月26日（日）14:00～16:00 **第41回草の根歯科患者学 オイリュート療法を学ぼう** 講師：石川公子氏（日本オイリュートミー療法協会副代表） 会場：あめにていCAFÉ・梨の木舎（10名まで、JR水道橋駅東口徒歩5分）とzoom併用 主催：草の根歯科研究会 問合せ：03-5340-9282（岡田）

☆12月09日（土）～11日（月） **「戦争国家」を許さない基地闘争全国交流集会in沖縄＋辺野古・勝連・宮古島行動** 主催：安保破棄中央実行委員会 申込先：安保破棄中央実行委員会 FAX03-3264-4765、TEL 03-3264-4764、Eメール anpohaiki@nifty.com

JSA神奈川支部幹事会と発送作業：日時：11月14日（火）14:30～16:00 14時30分から発送作業、15時から幹事会 会場：横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階B かながわ総研の新事務所（1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第1HBビルの5階です。関内駅南口から徒歩3分）。連絡先：飯岡ひろし（携帯：090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com）

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052）